

家庭学習（自主学習）のすすめ

東大阪市立 長瀬南小学校

学習の基礎基本を身につけ、学力の定着を図るには、学校での授業の充実を図るとともに、家庭で行う学習が欠かせないと言われています。「やらされている」ではなく、「自分から学ぶ」子を育てるには、学校と家庭が協力して子どもの学びに関わることが大切です。「自分から学ぼうとする力」は生きていく上で必要不可欠です。

学校と家庭が互いに助け合い、子どもの学習意欲を高め、家庭学習の習慣をつけていきましょう。
家庭学習とは、どんなものでしょうか。

家庭学習＝宿題⇒「×」 **家庭学習＝宿題＋自主学習⇒「○」**

宿題は学校側が与えた課題です。自主学習は、やろうと思ったことを自分から進んで行う学習のことを自主学習といいます。この2つを合わせて行うことを家庭学習と考えています。

家庭学習を行う上で大切なことは環境づくりです。家庭学習を始める前に確認してみてください。

- ① 家族や地域の人とあいさつをしていますか。
- ② 学習する時間は決まっていますか。
- ③ テレビ、ゲーム、スマホなどの時間が決まっていますか。
- ④ 毎日、家族で学校のことを話題にした会話がありますか。
- ⑤ 学校からのお手紙をお家の人に渡していますか。
- ⑥ 勉強する場所はきれいに片付いていますか。
- ⑦ 正しい姿勢で、正しい鉛筆の持ち方で学習できていますか。
- ⑧ 時間があるときは、本を読んでいますか。

かていがくしゅう 家庭学習のすすめ

○お家に帰ったらこんなふうに復習してみよう！

1. 宿題をすませよう。
2. 今日、学校で勉強したことを思い出そう。
(お家の人に、今日勉強したことをお話しする。)
3. ノート・教科書・プリントを見直そう。
☆できている、わかっている問題はさっと目を通す。
☆できなかった、わからなかった問題を、ノートや教科書を見てもう一度考えよう。
(もう一度考えてもわからなかった問題は、次の日先生に教えてもらいましょう。)

かていがくしゅう 家庭学習のポイント

○ポイントを参考に家庭学習してみよう！

1. お家で勉強する時刻を決めておく
(習慣になると、勉強することが楽になります。)
2. 最初に宿題をする。
(宿題も今日勉強した復習のひとつになります。)
3. 復習はその日のうちにする。
(ノートの見直しだけでも十分効果があります。)

☆おぼえたことも、復習しないと忘れてしまいます！

- 20分後には42% (半分近く)
- 1時間後には56% (おぼえたことの半分以上)
- 1日後には74% (おぼえたことのほとんどを忘れてしまいます。)

「エビングハウスの忘却曲線」より

かていがくしゅう ないよう
家庭学 習の内容

《 1・2年生 》 ^{ねんせい} 頑張っているところを、たくさん褒めてあげてください

い。みなさんの褒め言葉は、子どもたちのやる気変わります。

「こくご」

(おんどく)

- ・おおきなこえで、はっきりと よめるように しましょう。
- ・くとうてん(「、」や「。」)にきをつけて、すらすら よめるように れんしゅう しましょう。
- ・まいにち れんしゅう しましょう。

(かくこと)

- ・ただしいしせいで ていねいに かきましょう。
- ・ひらがな・カタカナ・かんじを ただしく ていねいにかくれんしゅうを しましょう。
- ・「とめ」「はね」「はらい」にきをつけてかきましょう。

「さんすう」

- ・かずのよみかた かきかたを れんしゅうしましょう。
- ・ゆっくりでもいいので ただしく けいさんできるようにしましょう。

「そのた」

- ・すきなほんを たくさんよみましょう。
- ・まちがったもんだいのやりなおしをしましょう。
- ・いちにちのなかでここにのこったことを、にっきにかいてみよう。

かていがくしゅう しゅうかんか
家庭学 習の習慣化

きほんてき がくしゅうしゅうかん み
基本的な学習習慣を身につける

さいご

・最後までやったかどうかを ^{かなら かぞく め たしか}必ず家族の目で確 かめましょう。

・テレビやゲームも ^{じかん}時間のけじめをきちんと ^{まも}守らせましょう。

・あきらめずに、ねばり ^{つよ}強くはたらきかけることが ^{たいせつ}大切です。

家庭での学習時間は、宿題と合わせて20分以上が目安です。

《 3・4年生 》

勉強への難しさを感じ始める時期です。みなさんの声かけで、自信や意欲を持たせてあげましょう。

「国語」

(音読)

- ・最初はゆっくりでもいいので、
文章を正確に読む練習をしましょう。
- ・慣れたら、すらすら読む練習をしましょう。
- ・主人公の気持ちや場面を想像して読みましょう。

(書くこと)

- ・正しく、ていねいに文字が書けるようにしましょう。
- ・漢字をくり返し練習しましょう。
- ・ローマ字の練習をしましょう。

(言葉)

- ・国語辞典や漢字辞典を使いましょう。

「算数」

- ・計算が正しくできるように、くり返し練習しましょう。
- ・三角定規、分度器、コンパスなどが使えるように、くり返し練習しましょう。

「その他」

- ・いろいろな種類の本を、たくさん読んでみよう。
- ・まちがった問題をもう一度やってみよう。
- ・興味のあるものや理科で実験したものなどを、図鑑で調べてみよう。

かていがくしゅう しゅうかんか
家庭学習の習慣化

みづか つくえ むか しせい そだ
自ら机に向う姿勢を育てる

- ・宿題以外の自主的な学習に積極的に取り組み、
- ・家庭学習のレベルアップをはかりましょう
- ・自立心や学習への集中力を育てることにもなります

家庭での学習時間は、宿題と合わせて40分以上が目安です。

《5・6年生》

自尊感情を育てる声かけをしてあげてください。「やればできる」という気持ちをもたせてあげましょう。

「国語」

(音読)

- ・文章を、正確にすらすら読む練習をしましょう。
- ・情景を思い浮かべながら読みましょう。

(書くこと)

- ・正しい書き順で、ていねいに、正確に文字が書けるようにしましょう。
- ・くり返し練習しましょう。

(言葉)

- ・国語辞典や漢字辞典を積極的に使いましょう。

算数

- ・教科書やドリルを使って、習ったことや間違えた問題をくり返し練習しましょう。
- ・三角定規、分度器、コンパスなどが正確に使えるように、くり返し練習しましょう。

理科

- ・教科書に出てきた大切な語句、観察・実験方法・結果を見直しましょう。
- ・生活に身近な自然や科学に関心を持ちましょう。

社会

- ・教科書、ノートを何度も見返しましょう。(資料、絵、グラフにも目を通す。)
- ・地図帳で、地名や位置を確認しましょう。
- ・新聞やテレビのニュースを見て、世の中の動きに関心を持ちましょう。

かていがくしゅう しゅうかにか
家庭学習の習慣化

よてい た じぶん がくしゅう すす
予定を立てて自分で学習を進める

- ・時間の予定を立てて見通しを持って学習しましょう
- ・必ず、学習後の見直しをしましょう

家庭での学習時間は、宿題と合わせて60分以上が目安です。

●家庭学習の後に確認しよう！

- ・明日の準備はできましたか？(教科書、ノート、先生から言われた物)
- ・鉛筆は削りましたか？(削られた鉛筆が5本は入っているようにしましょう。)
- ・消しゴムや物差しはきちんと筆箱に入っていますか？